

# 学校だより 平成 24 年度 11月

<http://www.funakoshi-e.edu.city.hiroshima.jp/>

広島市立船越小学校

## 基礎・基本定着状況調査の結果

6月12日（火）に、「基礎・基本定着状況調査」が行われました。「基礎・基本定着状況調査」は、小学校5年生（中学校は2年生）を対象に毎年実施されるもので、国語と算数に関して“読み・書き・計算”などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力・表現力などの状況を把握することを目的としています。また、児童の生活や学習に関する意識や実態なども把握し、本校の課題を明確にするとともに、指導内容・方法の改善・充実を図ります。

国語と算数の調査結果と本校の課題は、次のとおりです。

国	県平均	市平均	船越小	算	県平均	市平均	船越小
語	75.8	74.1	72.0	数	75.0	72.9	68.7

国語の「聞くこと」に関しては話の要点を聞き取ること、「書くこと」に関しては目的や必要に応じて理由を挙げて書くこと、「読むこと」に関しては場面の移り変わりなどを考えながら文章全体を正しく読むこと、「言語事項」に関しては国語辞典の引き方やローマ字を書くことなどに課題が見られました。

算数の「数と計算」に関しては分数の意味の理解、「量と測定」に関しては重さや長さの単位の理解、「図形」に関しては定義や性質に基づいて説明を書き表すこと、「数量関係」に関しては伴って変わる2つの数量関係の規則性を読み取り○や△を用いて式に表すことなどに課題が見られました。

生活や学習に関する調査においては、1日（平日）に3時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている児童の割合が県平均よりも11%程度多く、また、1週間に家でまったく読書をしないという児童は28%で県平均よりも10%程度多いという結果が出ました。

# 全国学力・学習状況調査の結果

4月17日（火）に、「全国学力・学習状況調査」が行われました。

この調査は、国が全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、改善を図ることなどを目的として、小学校6年生（中学校は3年生）を対象に実施されるもので、国語と算数、さらに本年度は理科も加え、主として「知識」に関する問題(A)と、主として「活用」に関する問題(B)が出題されます。また、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査も行われています。

国語・算数・理科の調査結果と本校の課題は、次のとおりです。

国語 A	国平均	県平均	船越小
	81.6	83.6	<b>83.0</b>

国語 B	国平均	県平均	船越小
	55.6	58.1	<b>58.8</b>

算数 A	国平均	県平均	船越小
	73.3	75.4	<b>76.3</b>

算数 B	国平均	県平均	船越小
	58.9	60.5	<b>62.3</b>

理科 A	国平均	県平均	船越小
	69.1	71.2	<b>72.1</b>

理科 B	国平均	県平均	船越小
	57.6	59.4	<b>56.5</b>

国語に関しては、必要な事柄を整理して簡潔にまとめて書くことができにくい、複数の記事を結びつけながら読み事実に対する自分の考えを持つことができにくいという課題が見られました。

算数に関しては、小数の除法の意味（小数倍の意味）について理解できておらず、基準量と割合から比較量を求めることができない、基準値をもとに全体量を求める時、筋道を立てて考えることができないという課題が見られました。

理科に関しては、虫めがねの操作技能が定着していない、植物の受粉と結実の関係を調べる実験をもとに説明をすることや電磁石の強さを変えるための条件を考えることができない、グラフを読み取り分析して予測することができないという課題が見られました。

今後とも、学習面・生活面の課題が残ったところにつきましては、全学年においてしっかりと指導していきたいと思っております。各ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。